

# 一日も早い途中トンネルの無料化を

途中トンネルは15億円をかけて昭和63年4月5日開通。混雑緩和のための道路も有料のため多くの車が旧道を通り抜ける。(わずか0.5kmの距離で軽自動車100円、普通車150円、大型車で260円、で570円)

旧道沿いの民家の方が、泥はねを掃除するため屋根に上がって落下し、亡くなられた不幸な事故も起こっています。料金の徴収は平成30年4月4日まで。

平成19年度末決算で借金残高は3億7500万円。毎年収入の1割程度が損失補てん積立金として溜め込まれ、現在3億円を超えている。これを借金返済にあてれば、平成30年を待たなくても、無料化は可能です。

「最重点項目として県と道路公社に無料化の要望をあげている。県財政構造改革プログラムや造林公社問題で積極的な県の姿勢がみられない。全車両を対象とした平日5日間の終日無料化の実験を予定していたが、県の合意が必要なため、実施時期などは未定」と答弁。

今年度無料化に向けた調査費が、500万円予算化されており、岸本市議は、調査はいつ行うのか、さらに一日も早い無料化に向けて、市から県に働きかけるように求めました。  
建設部長は

木戸市民センター(旧志賀町役場)で期日前投票ができます!

旧志賀町民の願いがみのって、総選挙に向けて期日前投票ができるよう準備が進められています。

ところが、突然の福田首相の辞任で総裁選……自公の党利・党略で解散・総選挙が急速に進み、市はこの総選挙に間に合うのかと困惑しています。



「天井知らずの物価高なんとかして!」

「人間らしく働きたい」

「戦争応援、海外派兵、許せない!」

こんな国民の願いにこたえて

今こそ政治の中身を変えるとき!

議会の合間をぬって街頭宣伝を行う岸本市議。



「みなさんご意見およせください!」  
教育長は、「保護者の気持ちに心える工夫と充実に努めている。しかし、幼稚園の3年保育は困難であり、旧志賀町の3年保育は今年度で終わり」と冷たい答弁!

# 志賀地域・幼稚園の3年保育の存続を

いま、格差と貧困の広がりなど、子育てが深刻になっています。  
また、育児と家族の不安悩みを一身に背負って育児ストレス・ノイロゼ等々重なり、児童虐待も起りかねません。  
旧志賀町の幼稚園の3年保育は、親を励まし、子育てを支援してきました。  
政府も平成12年度からは満3歳になったらすぐに入園できるよう法改正し、幼稚園就園奨励費の補助対象化などの措置が行われ、全国的に3年保育を実施する幼稚園が増えています。

「これでは子育て支援に逆行するのでは?」

大津市は全学区に公立の幼稚園があり、すべての園に養護教員が配置されるなどすぐれた施策を持っています。しかし、県内では3年保育を実施していないのは守山市・草津市と大津市だけ。守山市は来年から実施が決まっています。

岸本市議は、県都にふさわしく、子育てを支援するため、旧志賀町の3年保育を残し大津市全域に広げることが求めました。



こんにちは

# 岸本のり子です

発行 日本共産党  
大津湖西地区委員会  
連絡先 日本共産党大津市会議員  
岸本のり子  
大津市和邇春日2丁目  
〒514-0803 031-1630877

57号 9月号外

日本共産党